

【出展報告】

イノベーション・ジャパン2019 ～大学見本市&ビジネスマッチング～への参加報告 (2019年8月29日～30日)

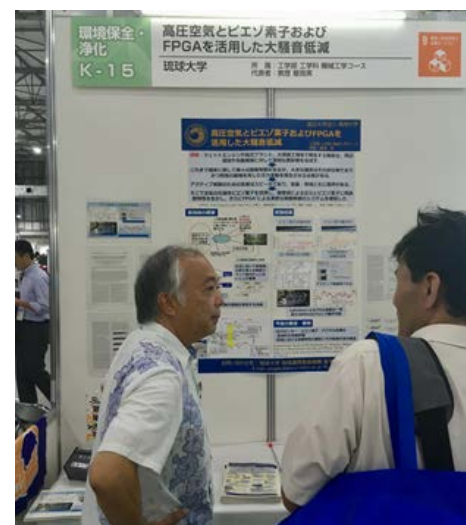
報告者 機械システム工学科
屋我 実, 瀬名波出, 松田昇一

2019年8月29日および30日に「イノベーション・ジャパン2019～大学見本市&ビジネスマッチング～」

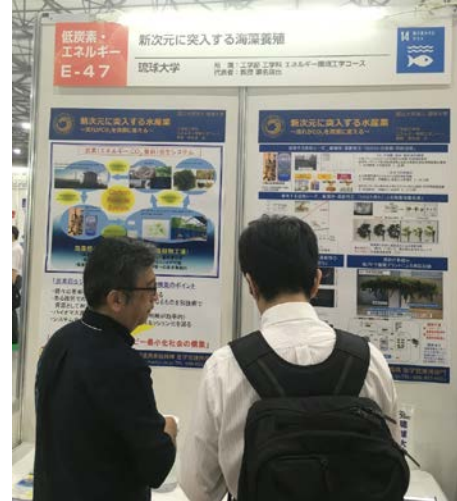
<https://www.jst.go.jp/tt/fair/index.html> に工学部から3件出展したので報告する。この企画には全国の大学および大学発ベンチャー企業、国関連研究機関を含め約567(2018年実績)件の出展があり、毎年開催される非常に重要なイベントである。また今回は琉球大学全学的な出展であったが結果的に本学部から申請した3件が採択された。そのタイトルは「高圧空気とピエゾ素子およびFPGAを活用した大騒音低減」(屋我), 「新次元に突入する海藻養殖」(瀬名波), 「電磁力を用いた新しい高効率・高機能溶接法の開発」(松田)であった。



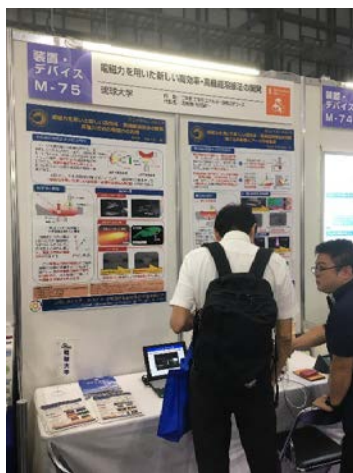
1. 「高圧空気とピエゾ素子およびFPGAを活用した大騒音低減」はすでに特許取得済みのテーマをもとに提案した展示で、「環境保全・浄化」のカテゴリーでの展示に割り当てられた。話を聞きに来た企業の中には有名な音響の会社や建設関連の会社のほかに、タイトルにあるピエゾ素子のメーカーやその応用を考えているメーカー等実に多くの会社が訪れていた。また、ピエゾ素子とFPGAという組み合わせに興味をもった新規事業を検討しているメーカー等、展示している我々にとっても非常に貴重な情報交換ができた。開催期間中のべ30社ほどの訪問を受け、休む間もなく2日間の日程を終えた。



2.「新次元に突入する水産業 ～流れが CO2 を資源に変える～」は、「低炭素・エネルギー」のカテゴリー展示に割り当てられた。また今回のイノベーション・ジャパンにおいては、展示内容をカテゴライズする以外に、それぞれの展示内容が SDGs のどの項目に最も当てはまるかも示している。本テーマの場合、「14.海の豊かさを守ろう」になっており、会場中でもこの目標に合ったテーマが少なかったこともあって、メーカー、大学の研究者、分野に関わらず多くの方に興味を持ってもらった。名刺交換数で 83 件、話しを聞いて頂いた方はその倍程度になる。



本イベントに参加し、そして自分の研究テーマをこれだけ多くの方に話しを聞いていただいていたことは、メーカー、商社、研究者問わず、イノベーションを起こせる新たなテーマの発見と、そしてそのテーマとのコラボを求めているということだ。それは出展者側からすると、展示することでそのような出会いのチャンスが訪れるということである。新たな展開を望む者には本イベントへの出展は有効だと感じた。



ブースの様子



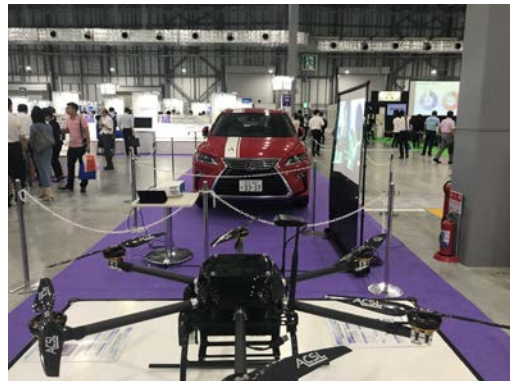
新たに開発した小型磁化付加装置

3.「電磁力を用いた新しい高効率・高機能溶接法の開発」の研究の中で、特に「反重力方向の電磁力の利用」と「溶け込み制御とアーク形状制御」の 2 テーマに絞って、初めてイノベーションジャパンに出展、参加した。当初は、学会発表とは異なるため、声がけに苦労したが、パネルを見て興味を持った参加者の方から声をかけてもらった。その後はスムーズに声がけを出来るようになり、最終的には 2 日間で 32 枚の名刺を交換し、約 70 枚のリーフレットを配布した。参加者からは多くの質問があり、本研究の特長・優位性を説明した。中には参加者の方から、今後の研究の展開を左右する貴重な提案、コメントをいただいた。なお、1 人で説明していたため、対応出来なかった参加者が多かったことが、反省点である。

以下会場の様子



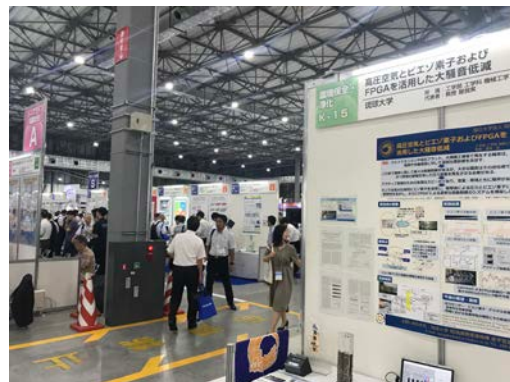
開会式でのテープカット



電自動車と大型ドローンの展示



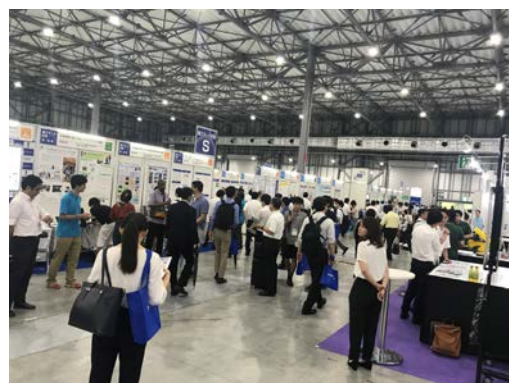
参加者でごった返す会場



報告者のブース側からの会場の様子



電気自動車と近くの展示ブース



参加者でごった返す会場